



平成30年度 公開講座実施模様

研修部



1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会では、総務省主催の平成30年度「情報通信月間（5月15日～6月15日）」にあわせて、一般の方を対象に情報通信エンジニアリング事業について、理解をより深めていただくことを目的に公開講座を開催しました。

東日本研修センタと西日本研修センタで開催した公開講座の概要を紹介します。

2. 東日本研修センタでの開催

- (1) 講座名 「ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の紹介」
- (2) 実施日 平成30年5月28日（月）
- (3) 参加者数 15名
- (4) 内容

① 情報通信エンジニアリング事業等の概要説明

情報通信設備等を紹介、安全体験等を実施する前にお客様に対する通信サービスの成長ステージ・通信サービスの高度化・情報通信エンジニアリング事業等について紹介しました（写真1）。



写真1 情報通信エンジニアリング事業等の紹介

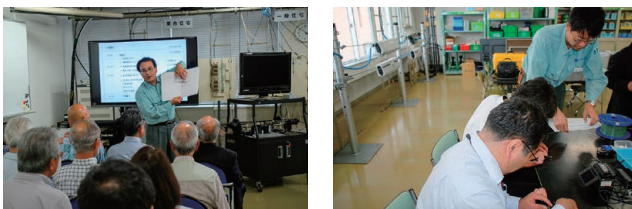


写真2 フレッツテレビ概要説明と光ファイバ接続体験

② 光ファイバ接続体験

ブロードバンドサービスの1つであるフレッツテレビ概要を説明し、光ファイバ融着接続体験を実施して、光ファイバ接続によりフレッツテレビへの伝送ができていたことを体験しました（写真2）。

③ 研修設備見学とその研修設備を使った体験

研修施設の見学と共にVRゴーグルを利用した転落体感・高所作業車の搭乗体験等を通じて情報通エンジニアリング協会での「安全向上への取り組み」についても紹介しました。

主な実施項目は以下の通りです。

- ダミー人形転落衝撃体感（写真3）
- VRゴーグルを利用した転落体感（写真4）
- マンホール内における酸素欠乏の危険（写真5）
- 高所作業車の搭乗体験（写真6）

3. 西日本研修センタの開催

- (1) 講座名 「電気通信設備見学」 サブテーマ「安全・安心・信頼」



写真3 ダミー人形転落衝撃体感



写真4 VRゴーグルを利用した転落体感

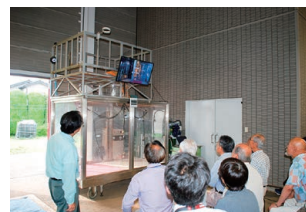


写真5 マンホール内における酸素欠乏の危険



写真6 高所作業車の搭乗体験

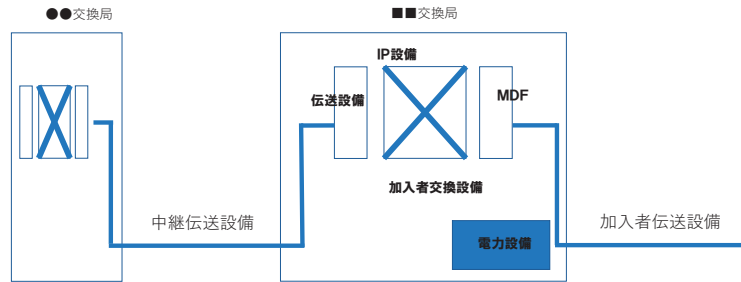


図 通信設備概略図



写真7 オリエンテーション模様



写真8 参加者集合写真

- (2) 実施日 平成30年6月5日(火)
 (3) 参加者数 17名(専門学校講師・教育事業関係・情報通信メーカ・近隣住民等)
 (4) 内容

① 電気通信設備の見学概要

社会インフラである通信設備の「安全・安心・信頼」と「次世代ネットワークのつながる仕組み」等を理解していただくことを目的に「情報通信設備見学」として実施しました(図・写真7・8)。

② 電気通信設備の体感・見学

NTT交換ビル内での現在運用中である通信設備(IP設備・伝送設備・MDF・交換設備・電力設備)の役割と、通話やインターネット等が正確に遠くまで伝達し、大規模災害時等でも通信を維持できる信頼性を確保している状況を、現地、現物の見学を通じて体感いただきました。

ア IP設備…光ファイバが布設されたお客様宅に、通話やインターネット等ができるようにする設備

*通信技術の変遷もあわせて説明(磁石式からIP電話まで)

イ 伝送設備…音声やデータを正確に遠くまで伝達できるような信号に変換する設備

ウ MDF設備…現在の光通信と異なる従来の電話系での交換機と屋外に張り巡らされている通信ケーブルとの接続設備

エ 電力設備…電気通信設備に安定した電力を供給する設備やバックアップ設備

4. 参加者の主な感想

- (1) 東日本研修センターでの講座
 ・情報通信エンジニアリング事業の動向説明・見学・

体験と展開し、分かりやすい講座であった。

- ・フレッツテレビの説明を受けて、最近の新築の建物にテレビアンテナがない理由が分かった。
- ・転落体験に使用したVRゴーグルは、高所感覚の迫真性がある。すごい。
- ・雨天でも、建物内で研修できる屋外設備があり、計画的に研修できる事に感心した。
- ・マンホール内は、意外に広く、涼しかった。
- ・お客様への通信サービス開始のために、高所作業所で雨天でも、接続作業を行う事を聴いて、感心した。
- ・情報通信エンジニアリング業界は、高所作業車への搭乗時の安全帯装着等、各種安全に対する取組みを実施している事を知った。

(2) 西日本研修センターでの講座

- ・通信設備の歴史を短時間で知ることができた。
- ・普段意識していなかった設備がいかにして生活の役に立っているか通信の幹の部分の部分が崩れないよう責任をもって対応、配慮されているのだと改めて認識した。
- ・災害時等、不足の事態でも、安心・安全なことが分かった。
- ・データの冗長設備や電力を自家発電する設備に驚愕した。

<要望等>

- ・次回も見学等があれば参加したい。
- ・見学の前に各設備の説明時間がもっとあれば分かりやすかったと思う。
- ・電柱の上にはどのようなルールで何が配線されているか、家庭内の光ネットワーク機器の働きなど知りたい。

5. おわりに

東日本研修センターでの公開講座では、座学・見学・体験を通じて、西日本研修センターでの公開講座では、設備見学を通じて、情報通信エンジニアリング事業について、理解をいただきました。

また、安全に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みについて、PRができました。